

町政を問う（一般質問）

Q&A 1

問 答

増え続ける空き家について
所有者が判明している場合、指導を基本に対応していく



山北英二議員



下村賢彦町長

町は空家等対策推進に関する特別措置法に基づき、大豊町空家等対策計画（第2期）を策定し、令和3年度から令和7年度までの5年間、調査や所有者対応、除却・活用施策を実施しているが、令和5年12月に国の法改正で管理不全空き家が新たに対象となり、計画の改定が必要になったのではない。

そして改定後の計画に基づいて進めてきたと考えるが、その進捗と実績の説明を問う。

第2期計画自体は改定していない。調査・除却の進捗は、令和6年度に実施した空き家実態調査では、1284件を抽出し、外観調査の結果、879件を空き家と判定。そのうち老朽度・危険度の高い住宅が26件確認された。26件の中には除却制度の対象外物件も含まれ、制度を活用して3件が撤去された。老朽住宅除去事業費補助金の活用実績は、令和3年度以降5件となっている。

空き家相談は産業建設課が窓口となり、令和3年度から現在までに計114件。補助金を活用した改修は23棟で、うち11棟は移住者

等が入居済み。本年度に改修した10件についても今後の活用が見込まれている。さらに、令和5年度から残置物処分補助金を新設し、約2年9カ月で16件利用されている。

管理不全空き家と今後の対応は、まずは所有者が判明している場合、指導を基本に対応していく方針である。

Q&A 2

問 答

観光対策について
情報共有を図り、対策を講じていきたい

山北英二議員

ゆとりすとパークは、指定管理者制度を利用して4月から株式会社ファウンディングベースが請け負っており、大豊町の魅力の発信や公園の魅力向上、地域の観光振興に貢献している。また、公園の保全として清掃・点検等の取り組みも行っている。私は10月から11月に数度ゆとりすとパークを視察した。次の問題を提起する。

キッズトレイン跡地の課題

伐採された樹木が放置され景観を損ねている。また、キッズトレインの鉄橋は、柵などの安全対策が不足している。

花壇・植樹の管理の課題

花壇に角がとがったアルミメッシュを載せているため足をケガする危険性があるので、立ち入り禁止等のロープを張るなど対策が必要。また、木々の手入れができておらず高さがデコボコである。レンガ道は管理不足である。

観光情報発信の課題

レストラン入口のパンフレットコーナーは、本町の観光パンフレットが置かれていない。日本一の大杉や国宝豊楽寺などをアピールするようなものを置いてはどうか。

風力発電施設の安全性

四国電力の風車の1基については、着雪や強風時のブレード落下などの危険性がある。

オートバイ神社の課題

9月にオープンしたオートバイ神社は、鳥居や祠があり祠の前には柵が供え、祠の中には御祭神と神鏡が置かれていた。宗教施設とみなされ政教分離の観点からすると看過できない状態だ。この施設の建設費を町から直接ではなく、大豊町観光開発協会からの支出と考えるが、その費用はいくらか。また、この施設が政教分離に抵触しないか説明を。

下村賢彦町長

キッズトレイン跡地は、噴水モニュメント撤去と合わせ、県補助金を活用して一体的な再整備を行い、景観・安全対策を講じる。

Q&A 3

問 答

町の医療について
医療の提供はなくてはならない

山北英二議員

過疎・高齢化が進む本町において衣食住のうち衣を医療の医と捉えるほど、医療が生活に不可欠である。本町ではフレイル予防や健康ウォーキング教室、閉じこもり予防、高齢者の食生

成式典時に設置された可能性はあるが、詳細を把握していなかった。

山北英二議員

花壇、植樹の手入れは、安全第一を考え庭師等の力も借りたほうが良いのではない。

風車について、定期点検をしていても事故が発生することがある。設置者の四国電力と検討してほしい。

Q&A 4

問 答

移動手段の確保について
デマンド交通など事業者と協議している



三谷よし恵議員

移動手段の確保について、新年度に向けての進捗状況を問う。

下村賢彦町長

医療と介護の複合的ニーズを持つ高齢者が多い本町にとって医療の提供は不可欠である。高知県は「高知県地域医療構想」を策定し、嶺北管内では医療や介護に関わる関係者が集まり、医療提供体制や病床機能分化について協議を重ねてきた。町内に入院可能な病院は1カ所だが、嶺北地域全体では急性期医療や介護ニーズを併せ持つ方を受け

入れる医療機関があり、町内医療機関と連携しながら在宅復帰や長期療養に対応している。

山北英二議員

今後さらに高齢化が進む中で、遠方の医療機関より、嶺北地域および町内の医療機関が継続して医療提供できるよう、町として支援・対応を続けていただきたい。

下村賢彦町長

これまでに関係者および内部協議を6回ほど行っているが、利用者と交通事業者からの課題がそれぞれある。

下村賢彦町長

現在、診療報酬や介護保険制度の改正に向けての議論がされている。物価高騰も続いており、高齢者の生活はますます厳しくなるのではない。それにより、受診控えなどが起こりはないかと危惧する。

三谷よし恵議員

利用料はどうなるのか。

下村賢彦町長

住民負担は、変更なしで検討している。住民から見れば、利用目的に関係なくタクシー事業者に予約すればよいことになる。

三谷よし恵議員

同じ仕組みで利用はできないか。